

社会貢献活動

クボタは環境に関する知識の普及や、
環境に関する研究の支援などに加え、地域の環境保全・美化など
幅広い環境活動に取り組んでいます。

ヒューテックセミナー

教育分野での社会貢献と若者たちに環境に対する意識をもってもらうことを狙いとして、科学に興味をもつ中学生・高校生を対象に、日々進歩していく科学知識を分かりやすく解説します。

講義2回と課外授業1回を合わせた3回シリーズを年2回、東京と大阪の2会場で開催しています。(朝日新聞、朝日カルチャーセンター主催。1985年からスタート)



ヒューテックセミナー

地域貢献活動

クボタの各事業所では近隣の河川、道路、公園などの清掃や草刈りなど、地域の皆様と一体になって地域の美化・環境保全活動に取り組んでいます。また、船橋工場のピオトープ*「クボタ船橋の森」にはトンボの池が完成し、環境保全と地域に開かれた工場づくりに貢献しています。

アクアカルチャー基金

クボタは「アクアカルチャー基金」を通して、水の研究・開発を支援しています。

水道をはじめとする“水”とともに発展してきたクボタが、創業100周年記念事業の一環として、1990年に基金5億円をもとに創設したアクアカルチャー基金は、上下水道・農業用水・工業用水など広く“水”を中心とした分野を対象に、水の文化を担う内外の人材の育成と、水に関する新技術の開発・科学技術の発展に貢献することを目的としています。



河川清掃(滋賀工場)



クボタ船橋工場のピオトープ

*ピオトープ「クボタ船橋の森」

ISO 14001活動のシンボルとして、1999年2月、船橋工場のピオトープ「クボタ船橋の森」の中心となるトンボの池が完成しました。6月現在、船橋市内では初めて発見された3種類を含む16種類のトンボが確認されたほか、池の周辺には船橋市内では絶滅したとされていた野草2種類も見つかるなど、豊かな自然にあふれています。

生物を意味する「bio」と場所を意味する「tope」を合成したドイツ語で、野生生物が生息できる空間のこと